

- Q. 観光協会支援事業の内容は
(町やイベントのPR、観光客の増加に期待)
- Q. 吉野墓地駐車場の早急な整備を
(早急な整備を確約する)



山田 秀明 議員

観光協会支援事業の内容は

質問 観光協会支援事業の一環として稚魚の放流は聞いているが、他にどのような事業を行っているのか。

町長 観光協会設立の目的は、「本町における観光産業の開発等を図り、産業文化の振興に寄与すること」となっている。具体的に「観光宣伝、観光客の誘致促進」としての分野では、マスメディアを利用し、本町の観光施設やイベントを宣伝し、ほかにも赤平らんフェスタ、札幌雪まつり等に観光協会事務局員を派遣して地場産品の販売やチラシ

等を配り、観光客の誘致に努めている。また、「観光資源の開発、調査研究事業」の分野では、自然の川や清流に魚を放して生息環境や水質に変化がないかを調査することと、小学生の自然体験学習を目的に「稚魚放流事業」を総富地川上流で実施している。



小学生による稚魚放流

吉野公園の池の水草除去

質問 吉野公園の池に大量の草が茂り、景観がそこなわれている。その草を食べる「草魚」を20匹ほど購入し放すとのことだったが、その成果は確認できたのか。

町長 「吉野公園の池」への草魚放流については、平成20年度に吉野地区活性化センター運営委員会より、浦臼町の鶴沼公園で草食系の「草魚」を放流したところ、徐々に水生植物が減ったとの話を聞き、試験的に放してはどうかとこの提言があった。

公園管理者である町では、昨年8月に鶴沼公園より2匹、12月には埼玉県から調達した20匹の稚魚を放流した。さらに、今年8月にも、鶴沼より提供を受けた2匹の成魚を放流した。その効果はまだ見えてはいないものの、今後の成果に期待している。

吉野墓地駐車場の早急な整備を

質問 吉野墓地駐車場において、今年の8月に転落事故があったと聞いた。その後、事故現場には防護柵は設けてあったものの駐車場が狭く、崖もあり、今まで防護柵がなかったのが不思議に思える。今後の対応をどのように考えているのか。

町長 今回の事故の原因の一つは、狭い駐車場によること大きいと考える。平成23年度予算において、地隣接する土地を新たに求め駐車場を整備し、来年の墓参に支障がないように整備を進めたい。

まちづくり基本条例はPR不足

質問 平成23年1月1日からまちづくり基本条例が施行となる。行政側から住民への周知が積極性に欠けると考え、早く理解していただくための方策をどのように考えているのか。

町長 この条例は、まちづくりを進めるときに、その関係者の行動規範として深く関わりをもつものである。例えば、環境美化活動や防犯活動など、行政、住民の具体的行動を示すこととなっている。今後は、広報で特集記事として取り上げ、分かりやすく周知するとともに、町議会議員の皆様からも住民の方に説明していただきたいと考える。